

アジア・太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF)
APRSAF Online 2020のご案内
“Sharing Space Visions Beyond Distance”

アジア・太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF : Asia-Pacific Regional Space Agency Forum) は、アジア・太平洋地域における宇宙利用の促進を目的として 1993 年に設立されました。各国の宇宙機関や行政機関をはじめ、国際機関、民間企業、大学、研究機関など様々な組織から、これまで延べ 50 を超える国と地域からの参加者を得て、地域最大の宇宙関連会議へと発展しています。

当初ベトナム・ハノイで第 27 回会議を開催予定でしたが、来年に延期し、今年は以下のとおりオンラインイベントを開催いたします。

アジア・太平洋地域の宇宙機関長が勢揃いする宇宙機関長セッション(ライブ)と、多様なプレーヤーの参画促進、特に宇宙ビジネスの拡大をテーマとしたパネルディスカッション(ライブ)は同時通訳により日本語で視聴できます。

APRSAF は毎年、アジア各地で開催されていますが、今年はオンラインイベントのためどなたでも無料で視聴できますので、この機会にぜひご覧ください。

- ◇ 開催日時 : 2020 年 11 月 19 日(木) 13 : 00 – 17 : 00 (日本時間)
- ◇ 主催 : 文部科学省、宇宙航空研究開発機構、シンガポール宇宙技術協会、
ベトナム科学技術院、インドネシア国立航空宇宙研究所

- ◇ APRSAF オンライン 2020 ウェブ :

https://www.aprsaf.org/jp/annual_meetings/online2020/meeting_details.php

* 上記のサイトから事前登録をお願いいたします。

- 問合せ : APRSAF オンライン 2020 事務局
E-mail: aprsafonline2020@aprsaf.org

APRSAF Online 2020

日本時間	プログラム概要
13:00	開会挨拶 (萩生田文部科学大臣)
13:01	<p>カントリーレポート (事前録画映像)</p> <p>参加国：オーストラリア、バーレーン、中国、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、ロシア、サウジアラビア、タイ、アメリカ、ベトナム</p>
13:31	<p>パネルディスカッション (ライブ：同時通訳あり)</p> <p>■テーマ：多様なプレーヤーとのパートナーシップによる持続的な宇宙活動の実現</p> <p>名古屋ビジョンで掲げた多様なプレーヤーの参画促進、特に宇宙ビジネスの拡大に向けた課題を共有します。また、政府・宇宙機関・民間企業などのパートナーシップ強化により、SDGsにも貢献する持続的な宇宙活動を加速するためのきっかけの場としたいと考えています。</p> <p>◇ モデレータ：石田真康氏 (SPACETIDE 代表理事、A. T. カーニープリンシパル)</p> <p>◇ パネリスト：中須賀真一氏 (東京大学大学院教授、内閣府宇宙政策委員)、リネット・タン氏 (シンガポール宇宙技術協会理事)、岡田光信氏 (アストロスケール CEO)、アリサ・スターキー氏 (オーストラリア Ozius 創業者)、藤原謙氏 (ウミトロン CEO)</p>
14:31	<p>APRSAF Activities Reports (事前録画映像)</p> <p>◇ APRSAF の枠組みの下で推進するイニシアチブの活動報告等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Sentinel Asia: 地域の自然災害の監視を目的とした国際協力プロジェクト ・ SAFE : 宇宙技術を用いた環境監視イニシアチブ ・ Kibo-ABC : ISS きぼうを利用したアジア協力イニシアチブ ・ NSLI : 国内宇宙法制に関する国際協力イニシアチブ ・ ポスターコンテスト結果発表 (8~11歳を対象とした宇宙絵画コンテスト)
14:56	<p>Introduction of Sponsors/Side Events (事前録画映像)</p> <p>8つの協賛企業のご紹介：(株)アストロスケール、ATOS、ispace, Inc., Maxar Technologies Inc., 三菱電機(株)、三井物産エアロスペース(株)、(株)パスコ、Surrey Satellite Technology Ltd</p>
15:10	<p>宇宙機関長セッション (ライブ：同時通訳あり)</p> <p>■テーマ：困難な時代における宇宙の取組み</p> <p>COVID-19の拡大により、我々の生活にも様々な制約がもたらされ社会経済活動の低下が余儀なくされています。このセッションでは、各国の宇宙活動を牽引するリーダー(宇宙機関長)達が、より広い視野と高い視点から、今何を考え、将来をどう描いているか、各々のビジョンを語ります。</p> <p>◇ モデレータ：山崎直子氏 (宇宙飛行士)</p> <p>◇ パネリスト：オーストラリア、バーレーン、中国、インド、インドネシア、イスラエル、日本、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、タイ、トルコ、UAE、アメリカ、ベトナムの宇宙機関長もしくは次官等</p>
16:40	APRSAF 運営委員会からの提案
16:50	閉会挨拶 (チョウ・バン・ミン ベトナム科学技術院長)
17:00	閉会

*青字はライブセッションです。